



INDEX

P 1 ー代表挨拶
平成 20 年度
通常総会報告

P 2 ーゆめっと京都加盟団体
からのお知らせ
平成 20 年度組織体制

P 3 ー平成 20 年度
ゆめ企画コンテスト
第 2 回募集

P 4 ーユースリーダー
スクール受講生募集



神崎清一代表

「自分と向き合うこと 人と向き合うこと 社会と向き合うこと」

京都青少年ゆめネットワーク代表 神崎清一

随分前にテレビで放送されていたのですが、目の中で「黒い部分」以外の「白い部分」は人間にしかないそうです。確かにそのときの映像からみても他の動物は黒目以外の部分はなく、あってもこげ茶色もしくは薄い茶色で白い部分がありませんでした。これは全部に色がついているとどこに視線があるのかわからず、他の動物を襲ったり、他の動物から身を守ることは大変重要なこととなるそうです。

一方、人間にとっては、他者と会話をしたり、表情を読み取りあうためには、この白い部分が重要で、白い部分があると視線がどこにあるかわかるのです。人間だけが他者をつながりを持って生きてきたことの証でもあるようです。例えば瞳の色が異なっても、まさに目から鱗のお話です。

私たちを取り巻く社会的状況は、善くも悪くも様々に常に変化しています。あるときは急激なスピードで。その変化の要因も様々で、評論をすることやあとで評価をすることは簡単なことではありませんが、正解はひとつではありません。

しかしながらはっきりしていることは、それらすべての変化の要因は私たち「人間」が起因となっていることではないでしょうか。自分と向き合い、隣りにいる人と向き合い、家族や地域の人と向き合い、社会で起きている事象と真摯に向き合うことを避けてきたり、他者や後世にまわしてしまってきたことが大きな要因とはいえないでしょうか。

私たちは、人を護ることも出来ますし、傷つけることも出来ます。社会の課題を解決することも出来ますし、そ知らぬ振りをする事も出来ます。

人間にだけ与えられた表情を読み取りあう能力を最大限生かしませんか。そのことが社会を変革する力となり得るのではないのでしょうか。隣りにいる人の目を見てあげてください。家族や職場、地域のことに目を向けてください。時には鏡に映る自分のことも。

平成 20 年度通常総会開催報告

さる5月11日(日)京都市中京区のコープ・イン・京都にて平成20年度通常総会が行われました。

総会は3部構成で行われ第1部では第1号議案から第6号議案が諮られ、平成19年度の事業報告・決算、会則の一部改正、代表選任、平成20年度事業計画・予算が全て承認されました。第2部では平成19年度ゆめ企画コンテスト助成金交付団体による企画発表が行われました。

3部では交流懇親会が開かれ各団体からの出席者の交流を深める場となりました。

